

第5回蒲郡北地区統合小学校開校準備委員会 議事要旨

- 日 時 令和7年9月30日（火）14時から14時50分まで
- 場 所 蒲郡市立蒲郡北部小学校3階多目的室
- 参加者 開校準備委員会委員
彦坂繁、藤井克枝、奥村那奈、竹尾公孝、足立泰敏、永井久嗣、
河井則夫、尾崎友美、山本なおみ、原田あい、神田顕寿、
岡田隆志、近藤愛子
事務局
三浦次七郎、戒田正敏、高須伸光、稲吉育美、坂本和浩
井本亮裕、下大園光輝

1 あいさつ（委員長 彦坂 繁）

9月28日に基本計画策定に向けたワークショップが開催された。北西部小の児童、中部中の生徒も参加した。大人に混ざって、建設的な意見を述べる姿があった。様々な交流を通して、子どもは大人から学び、大人は子どものキラキラした目、一生懸命な姿から刺激を受けて、地域と学校が一体となって、子どもたちを育てていく仕組みや、雰囲気が高まるとよいと思う。開校に向け、職員による西部北部合同の会議を定期的に設けている。今日はその報告をしたい。

2 協議

(1) 第4回準備委員会の議事要旨確認について（事務局）

第4回の議事要旨について確認。

【決議】

全会一致により承認

(2) 部会報告

ア 事務局からの報告

『新しい学校通信』第3号を広報9月号と併せて回覧。裏面には、校名投票を地域の方をお願いした。第5回地域説明会を11月5日（水）午後6時30分から北部小体育館にて行う予定。

イ コミュニティ部会からの報告

校名選定、校章については後ほど提案する。校歌は令和9年度統合後、子どもたちと一緒に制作する。どのように制作するかは今後検討する。

ウ カリキュラム部会からの報告

来年度は北西部小の校時をそろえ、交流をしやすくする。中央小との交

流も検討している。

エ 生活部会からの報告

令和9年度前期の児童会役員は、令和8年度中に各校で選出する。会長を2名たてる予定。体操服は選定中。学校の片づけについては、少しずつ進めている。夏休みを使って北西部の教職員で作業を行った。

通学路については、中央公園西信号機の中部中西への移設を今年度の3月までに行う予定である。

【委員からの意見・質問】

【委員】 カリキュラム部会について、今の内容を統合し拡大していくことも大切だが、それだけでよいのかと気になる。カリキュラムよりも大卒の教育方針を話し合ってもらいたい。現状の改善にとどまらず、20年後30年後の学校について話し合ってもらいたい。その方針に基づいてカリキュラムができていく。例えば、ずっと前から通知表は廃止すべきだと思っていた。ただし、廃止するのなら、どうあるべきかということを考えていくことが必要である。

【委員】 新しい学校の教職員の人数はどうなるのか。第5回地域説明会で、保育園と西部小の跡地の話はどこが担当するのか。

【事務局】 クラス数によって教職員の人数が決まる。基本的には、現北部小のクラス数と大きく変わることはないため、教職員の数も現北部小と同等数となる。地域説明会では、保育園については子育て支援課、西部小の跡地については資産マネジメント課より説明がある。

【委員長】 校歌については令和9年度統合後の制作でよいか承認をとる。

【決議】

全会一致により承認

(3) 校名候補選定について

北西部小児童・教職員・北西部学区の地域の方の投票数は全485票。
投票結果は次の通り。

○たちばな	138票	○しずさと	121票
○楠の森	59票	○みかんの里	47票
○実りの丘	46票	○ゆうひの里	39票
○みかんの丘	35票		

この結果を参考に候補を一つに決めていく。

【委員からの意見・質問】

【委員】 「ゆうひの里」の投票理由がないのはなぜか。

【事務局】 子どもたちの投票はあったが、地域の投票数が「0」であった。

【委員】 (西部委員) 思いのほか「たちばな」が多かったと思う。「みか

んの丘」と「みかんの里」も意外にたくさんあった。北部の子も結構みかんのことを考えてくれているのだと思った。

【事務局】 子どもたちの意見を見ても、北西部の共通は「みかん」であるという認識は多かった。

【委員】 子どもたちの意見の、「親しみやすい」とか「かわいい」という捉え方は大事なこと。大人は、いろいろな情報や経験が積み上がってくると、どうしてもそれに引きずられていく。それをベースにした名付けもいいが、「たちばな」は子どもの感性に非常に近い校名と思う。

【委員】 子どもたちは身近に感じたものをいいなと感じるのだと思った。

【決議】

「蒲郡市立たちばな小学校」が選ばれる。

全会一致により承認。

【事務局】 今後、蒲郡市議会の議決を経て正式決定となる。

(4) 校章の決め方について

校章のイメージを子どもたちが話し合いを通して決定し、そのイメージが表現できるようなデザインを募集する。開校準備委員会で候補を数点に絞り、子どもたちの投票で決めていく。

応募資格を蒲郡市在住・在勤・在学、北西部小・中部中の卒業生や教職員（元教職員を含む）とする。いずれかの資格を満たしていれば応募可能とする。蒲郡市内の中学校や高校の美術系の部活動にも積極的に情宣していく。応募期間は今年度末から来年度初めを予定している。

【委員からの意見・質問】

【委員】 「たちばな」をイメージすると、花くらいしか思い浮かばず、他をまねて似たようなものや同じものが出てきてしまう心配がある。

【事務局】 子どもたちがイメージをつくるので、他をまねるようなことは少ないと考える。事務局でも、すでに使われているものがないよう応募されたものを調べていく。

【決議】

全会一致により承認。

3 その他（連絡事項）

(1) 次回の開催について

令和8年1月14日（水）午前10時から西部小学校会議室での開催を予定。

【委員】 教育委員会にお願いしたい。ぜひカリキュラム部会に関わって、市としての方針を示し、基本的な構想を練ってほしい。特に通知表

を廃止して欲しいことが一番。評価が変わると、内容が変わってくるので、もちろんゴールも変わってくる。

【事務局】 ご要望としてご意見を賜る。

【委員】 せっかく新しい学校になるということで、特色のあるものになるとよい。保護者の方でも地域の方でも、子どもたちも、こんな学校にしたいといろいろ思っていることがあると思う。そういうのを、話し合いができるような場があるとよい。ワークショップとかがそんなのかなとは思ふ。

【事務局】 北部小6年生と西部小の3から6年生には、お時間をいただいて、「学校や地域の自慢」「新しい施設がこんな学校になるといいな」というテーマについて子どもどうしで意見を伝え合う場を設けることができた。